



株式会社 神谷商会

利用コース情報

- ・訓練コース名：「ものづくりの仕組みと生産性向上」
- ・訓練実施時期：令和5年2月15日、3月15日
- ・受講者数：12人

会社プロフィール

- ・所在地：静岡県浜松市中央区木戸町4-47
- ・従業員数：38人
- ・事業内容：化成品、アルミニウム、新素材を中心に素材知識、加工技術と素材に関するノウハウを強みとする、メーカー機能を持った「企画開発型システム商社」

※記載の組織情報は令和6年現在のものです。



株式会社神谷商会 外観

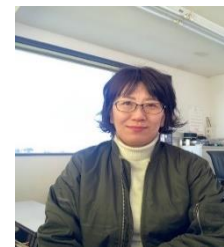
<事業主の声>

Q：訓練を利用したきっかけを教えてください。

A：当社は、お客様の「ほしい」をかたちにする「ものづくり商社」です。主な取り扱い製品は、化成品・アルミニウム製品となります。グループ会社の工場ではアルミ加工・印刷・組立を行っていますが、工場の生産量増加に伴い、当社の商社機能とは別に、生産管理に関する業務が増え、ものづくりに関する知識の習得が急務と感じていました。本訓練は、カリキュラムモデルを基に当社の抱える課題とあるべき姿から訓練内容をカスタマイズできるところに、非常に魅力を感じました。また、講師を自社に迎え、複数名の社員が同じ訓練を同時に受講できることも決め手となりました。

Q：訓練を利用した感想をお聞かせください。

A：演習で実施した「現場の改善活動」を、受講者が2班に分かれ、訓練受講後も約6か月間に渡り現状把握、改善計画、改善活動を継続して実施しました。全社会議で活動結果を報告することで、全社員が課題を共有し、それぞれの職場の活動に活かすことができました。今後も、部署ごとのテーマ・課題に沿った訓練内容を計画し、社員と会社の成長につなげていきたいと考えています。



経営企画室長 古田さま

<受講者の声>

Q：訓練を受講した感想と今後の抱負をお聞かせください。

A：私が所属している生産管理グループでは、製品のQCDS管理を目的としています。その中で、特にグループ会社の工場における生産性向上が課題でした。訓練ではものづくりの基本に始まり、5Sの重要性、7つのムダ等、現場改善の考え方や方法を学びました。訓練を通じて改めて現場を観察する中で、私たちは5Sに着目しました。「定位置にモノが置かれていない。」「不要なものを放置している。」等、改めて5Sが行き届いていない現状を実感しました。訓練後も改善活動を実施し、現場の整理やルール決めを行っています。今後は学んだことを活かし、「どのような行動が生産性の向上につながるのか。」という視点を持ちながら業務に取り組みたいと思っています。



受講者 高塚さま